日 本 独 文 学 会 第 **68** 回 総 会

春 季 研 究 発 表 会

2014 年 **5** 月 **24** 日（土）・**25** 日（日）

第 1 日　午前 **10** 時より

第 2 日　午前 **10** 時より

会場　麗澤大学

〒277-8686　千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1
Tel.：04-7173-3059（ドイツ語・ドイツ文化専攻事務室）
e-mail: tagung2014reitaku@jgg.jp

参加費：1500 円（学生、常勤職のない会員は 1000 円）

日 本 独 文 学 会

〒170-0005　東京都豊島区南大塚 3-34-6　南大塚エースビル 603
Tel./Fax　03‐5950‐1147
メールフォーム：http://www.jgg.jp/mailform/buero/

プログラム

第 1 日　5 月 24 日（土）

開会の挨拶　（10:00～10:05）

A 会場（1603 教室）

草本 晶

総　会　（10:05～11:30）

A 会場（1603 教室）

1.	会長挨拶	渡辺 学
2.	議長嘱任	
3.	庶務報告	田中 愼
4.	渉外委員会報告	井出 万秀
5.	会計報告	藤縄 康弘
6.	編集委員会報告	藤井 明彦
7.	企画報告	高田 博行
8.	広報委員会報告	初見 基
9.	データベース委員会報告	斉藤 渉
10.	文化ゼミナール委員会報告	宮田 眞治
11.	語学ゼミナール委員会報告	河崎 靖
12.	教授法ゼミナール委員会報告	保阪 良子
13.	ドイツ語教員養成・研修講座報告	太田 達也
14.	研究叢書報告	森 芳樹
15.	ドイツ語教育・学習者の現状に関する調査委員会報告	太田 達也
16.	ドイツ語教育部会報告	高橋 秀彰
17.	支部報告	

議事　1. 2013 年度決算書および 2014 年度予算案について
2. 支部選出理事の嘱任について
3. 監事の嘱任について
4. その他

会員意見開陳

日本独文学会賞授賞式　（11:40～12:10）

A 会場（1603 教室）

ドイツ語学文学振興会賞授賞式・総会（12:15～13:15）

A 会場（1603 教室）

ドイツ語教育部会総会・講演会（12:40～14:20）

B 会場（1602 教室）

総会（12:40～13:10）

講演（13:20～14:20）

望月正道（麗澤大学）

「第二言語習得研究からみた語彙習得と指導」

シンポジウム１（14:30～17:30）

A 会場（1603 教室）

バロックから今日までのドイツ文化における図像性と書記性
―現代の文化学･文学を参照しつつ

Bildlichkeit und Schriftlichkeit in der deutschen Kultur zwischen Barock und Gegenwart. Mit aktuellen Ansätzen aus der Kulturwissenschaft und der Literatur

司会：縄田 雄二

1. イメージと言語の間の深淵 ーベンヤミンのアレゴリー論　川島建太郎
2. カフカにおける文字、スケッチ、身体　山尾 涼
3. Bildlichkeit und Wissenserzeugung. Mit einer Betrachtung der Zeichnungen Friedrich Schlegels　高次 裕
4. Film und Buch in Christian Krachts Roman „Imperium“　縄田 雄二
5. Thomas von Steinaeckers „Geister“, eine Weiterentwicklung der graphic novel?　Stefan Buchenberger

口頭発表：文学１（14:30～17:05）

C 会場（1501 教室）

司会：大塚 直、鶴田 涼子

1. ヘルダーリンの「河流」のメタファーにあらわれる「力」の概念について　大田 浩司

2. デーブリーンの結合術
ー『山と海と巨人』における人体改造について　時田 郁子
3. 語り手はどこにいるか
ーギュンター・グラス初期戯曲作品『洪水』の〈物語〉構造　杵渕 博樹
4. 記憶の中のヨーロッパ ーシュテファン・ツヴァイクの 1920 年代の短編における記憶と想起のモチーフについて　杉山 有紀子

口頭発表：語学１（14:30～16:25）

D 会場（1502 教室）

司会：岡本 順治、末松 淑美

1. ダイクシス表現による現前化とフィクションの人称　瀧田 恵巳
2. 前置詞 wegen の格支配の変遷 ー言語変化のメカニズムをめぐって　佐藤 恵
3. 説明場面で聞き手はどのように「トラブル」を示すのか
ー視線を中心にして　白井 宏美

口頭発表：ドイツ語教育（14:30～17:05）

E 会場（1505 教室）

司会：Holger Schütterle、濱野英巳

1. 少人数制ドイツ語授業におけるインタラクションの特性と「足場かけ」の可能性　石塚 泉美
2. Die Wirkung von Fehlerkorrektur auf Überarbeitungsprozesse und -produkte　Tatsuya Ohta
3. L1 oder L2? Ergebnisse einer Umfrage unter Lehrenden und Lernenden zum Sprachgebrauch im japanischen Deutschunterricht　Axel Harting
4. „Auf die Lehrenden kommt es an!“ Was wir aus der empirischen Fremdsprachenforschung über die Lehrerrolle wissen　Michael Schart

ポスター発表（13:00～14:30）

F 会場（5 階階段 1502 教室前）

（ポスターは期間中を通じて掲出されています）

現代ドイツにおけるグリム童話
ー現代の語り手からの考察　金城ハウプトマン 朱美

ブース発表１（14:00～15:30）

G 会場（1404 教室）

（ブース発表は途中での出入り自由です。）

Sprachlernspiele. Ein Unterrichtsmittel mit hohem pädagogischen Potenzial　Marco Schulze

ブース発表２（16:00～17:30）

G 会場（1404 教室）

（ブース発表は途中での出入り自由です。）

大学におけるドイツ語学習者の動機と動機づけ
－６言語を対象とした質問紙調査から

藤原 三枝子
境 一三
平高 史也

ドイツ語教育部会　「大学ドイツ語入試問題検討委員会」展示・発表（13:00～17:30）

H 会場（1411 教室）

懇　親　会（18:00～20:00）

会場：麗澤大学学生食堂ひいらぎ
会費：5000 円（学生、常勤職のない会員は 3000 円）

第 2 日　 5 月 25 日（日）

シンポジウム２（10:00～13:00）

A 会場（1603 教室）

18・19 世紀転換期における身体表象とその表現－時間の流れと静止の中の身体
Körpervorstellung und deren Ausdrücke im späten 18. und frühen 19. Jahrhundert

司会：武井 隆道

1. ヘルダーの彫塑論における身体表象の諸問題　濱田 真
2. ゲーテとタブロー・ヴィヴァンならびにアチチュード　武井 隆道
3. 自動人形の時間性　三枝 桂子
4. バレエの芸術性 －舞踊における身体と幻想の連関　照井 夕可里

口頭発表：文学２（10:40～12:35）

C 会場（1501 教室）

司会：松岡 幸司、須藤 勲

1. ペーター・ハントケの語りについて －Zustand の概念史のために　前田 佳一
2. ハンス＝ゲオルク・ガダマーの解釈学における「善意志 guter Wille」の概念 －ガダマー=デリダ論争を手掛かりに　白鳥 まや
3. Das Ringen um Worte. Die Kommunikation als Problem in den Diskussionen in den Jahrbüchern der Deutschen Schillergesellschaft (1989-99)　Andre Reichart

口頭発表：語学２（10:40～11:55）

D 会場（1502 教室）

司会：田畑 義之、瀬川 真由美

1. fürchten と sich fürchten はどう違うのか －ドイツ語他動詞構文と再帰構文の違い　伊藤 克将
2. ドイツ語研究の構想的視点 －個別言語研究の実用的応用を求めて　在間 進

口頭発表：文化・社会（10:00～12:35）

E 会場（1505 教室）

司会：吉田 耕太郎、平松 智久

1. フィクションのなかのリアリティ
   －Charlotte Link の小説における女性像　　横山 香
2. A. W. イフラントが目指した舞台づくり
   －衣裳や装置の問題を中心に　　新沼 智之
3. ジャンル確立期の「タンツテアター」をめぐる言説の分析
   －ラバン、シュレンマー、ヨースにおける新しい舞台芸術の試み　　柴田 隆子
4. 背景としての旋法音楽
   －アドルノ音楽論から透かし見られるある連続体　　伊藤 壮

ポスター発表（10:00～13:00）

F 会場（5 階階段 1502 教室前）

（ポスターは期間中を通じて掲出されています）

ブース発表３（11:30～13:00）

G 会場（1404 教室）

（ブース発表は途中での出入り自由です。）

教科書を使わない授業とは？
－麗澤大学ドイツ語・ドイツ文化専攻における新カリキュラム導入の試み

草本　晶
濱野 英巳
Holger Schütterle
竹内 拓史

ドイツ語教育部会　「大学ドイツ語入試問題検討委員会」展示・発表（10:00～13:00）

H 会場（1411 教室）

閉会の挨拶（13:05-13:10）

A 会場（1603 教室）

石塚 茂清

学会期間中，上記のプログラムに加えて，下記の展示が行われます。

- 書店・出版社等による各種展示（書籍展示会場：1405 教室、1408 教室）